

# 『金炭窯』の復原と焼成実験

## — 鳴滝乾山窯跡出土資料の検討から —

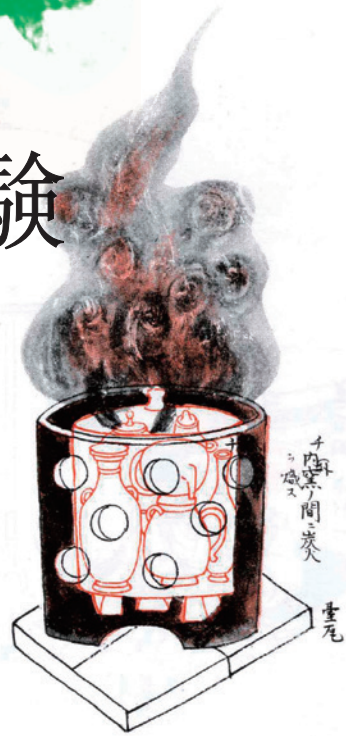
2013年 11月 11日(月) — 22日(金)

[開室時間] 9:30-17:00 (土・日閉室)

立命館大学 アート・リサーチセンター  
2F 多目的ルーム

入場無料

主催：文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」（立命館大学）木立研究室、立命館大学アート・リサーチセンター  
[問合せ] 立命館大学アート・リサーチセンター事務局 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL. 075-466-3411 (平日 9:00-17:30) e-mail: arc-jimu@arc.ritsume.ac.jp



文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」（立命館大学）木立研究室では、尾形深省（乾山）が開いた鳴滝乾山窯跡から発掘した窯道具類を分析し、軟質施釉陶器（楽焼）や上絵付けの窯を数多く確認しました。この窯は初期京焼の窯としても注目されるものであり、その後も長く楽焼窯として使用されてきたものです。

今回、この窯の破片を詳細に分析し、その製作技術や焼成技術を検討いたしました。検討に当たっては他の発掘資料・絵図類・民俗例を参考にし、それに基づいて窯を復元し、焼成実験を十数回行いました。これにより、乾山焼や初期京焼の技術を一定程度再現できたため、その成果を紹介いたします。

### [展示概要] (予定)

1. 鳴滝乾山窯跡出土の金炭窯（出土資料の展示）
  - ・鳴滝乾山窯跡出土陶磁器類
  - ・鳴滝乾山窯跡出土金炭窯
  - ・鳴滝乾山窯跡出土窯道具類—サヤ、窯窓（オオゲタ）、ヨリ土、焼台
2. 京都市内から出土した金窯の類例比較（パネル）
3. 絵図類から見た金窯—「金炭窯」と「金薪窯」—（パネル）
4. 民俗事例から見た金窯（パネル、一部実物展示）
5. 金炭窯の復原と焼成実験（復元品と実験の展示）
  - ・復元した金炭窯一式
  - ・焼成実験した陶磁器類



### [関連イベント]

#### 展示解説と検討会「金炭窯の技術」(仮)

講師：瀬戸口陽子氏（文学研究科卒業生）(予定)  
木立雅朗（立命館大学文学部教授）

日程・会場未定 ※詳細が決まり次第 HP にてお知らせいたします。

<http://www.arc.ritsume.ac.jp>

